

■参加者（敬称略）：代表、副代表、ディレクター、Assist team (Mandy)、監事、事務局、是永学長
 ■日程：Sat 13 Feb 2016 1:00pm - 8:00pm / Sun 14 Feb 2016 9:00am - 13:00 noon
 ■その他注意事項：
 ・代表&副代表の前確認MTG 2/13 12:30～ 事後反省会：30分（セッションごとのスケジュールに合わせて要調整）

day1:7 (Including Dinner)
 day2:4h

DAY	項目	分類	アジェンダ	内容	議事録
2月13日	1	イントロ	イントロ	・校友会代表からの挨拶 ・Icebreaking ・自己紹介（参加者全員） ・今日の進め方	自己紹介・進め方の共有
	2	校友会	校友会組織紹介	・校友会の組織の紹介 ・校友会のビジョンの共有 ・Loopsの紹介	【組織紹介】 ・ボドは主役ではなくサポート役（常に信頼してもらえよう努める） ・ボドメンバーとして・・・主体的なアクション、レスポンスのスピード、決断力 ・レスポンスを早めるためにボド内の連絡は日或英の1言語で運営（オフィシャル文章を除く） 【ビジョンの共有】 ・Global family →校友のアクセスポイントを増やす（設立候補地：沖縄・広島など） ・Self accomplishment →校友会のリソースを使って自己実現をする 【Loop.A.S紹介】 学内での校友会のPR、卒業生と学生をつなげる活動を行う校友会学生団体。現在国際学生も入部し国際化しつつある。
	3	全体	チームビルディング	チームビルディングゲーム	・アイスブレーキング（2人1組になり様々なテーマでディスカッションを実施）
			BREAK		
	4	その他	是永学長との意見交換	大学が校友会に期待すること・校友会が大学に貢献できること、について	【現在のAPU】 ・昨年度SGUに認定され、現在日本の大学の中のTOP30の中にいる APM：現在AACSB認証取得の最終段階。世界スタンダードへの挑戦 APS：現在教学改革中。アジア太平洋大学は日本で1校しかない。だからAPUで世界情勢や日本が周りに与えた影響を学ぶ場所として構築していきたい。 ・APUは分野を絞っているからこそ強みを今後出したい ・IRというデータを集めて開始している。それも今後校友に共有していく。 【校友会に期待すること】 ・SGUの4つの政策の一つが校友政策（SGU認定校の内唯一APUが校友を政策の柱の一つとしている） ・今後校友から在校生向けに講演・講義してもらったり、また校友の勤務先にインターンシップとして学生を派遣したりしていきたい。 ・卒業生が社会で厚く存在となることを望んでいる。MBAコース等卒業生が多い都市で学べる機会を検討中
	5	予算	予算について	・校友会予算に対する基本的な考え方について ・2015年度予算レビュー	【予算の基本的な考え】 ・基本的に校友会費収入約2千万円に対して、支出も2千万 ・2014年→2016年度は活動を活性化するため支出超過（予算3千万前後） ・2017年は通常通りの支出に戻す 【2015年度予算のレビュー】 ・1月31日付で約1,550万円執行済み、今後の執行予定額とあわせると今年度は執行額約2,400万円予定。
6	チャプター	チャプターリーダーの任期について		現状；任期なし。民主的な方法で選出。従来年一回の総会での承認を経て兼任するが、現在形骸化しつつある。今後整理していく。	
		Dinner	@晴海ホテル		
7	チャプター	RLM	・RLMの基本的な考え方について ・今年度のRLMの共有 ・来年度のRLMの設計（参加人数、役割分担等）	【RLMの基本的な考え方】 ・ボド主体ではなく、チャプター主体を目指すための会議 ・従来のCLMではコストは高く、人数が多かったため具体的な話が出来なかった。そのためエリアに分けて開催する方針に切り替えた 【今年度のRLM共有】 ・今年度4箇所で開催済み、2月末にAPUで最後のユニットが開催予定 ・費用は約500万円、CLMも約300万円コストが出た。 ・RLMをキッカゲにチャプターの活動が活性化することが出来た。 【来年度のRLMの設計】 ・来年度はよりチャプターの自主性を高める（チャプター間のベストプラクティスの共有や会場選定など） ・人数は2015年度1名のところは2名、2名のところは1名参加でトライアルを行う ・更にコストカットが出来よう検討する（旅費・会場の手配や支払方法など）	
8	チャプター	新規チャプターの設立について	・チャプター設立ルールの紹介 ・現在見込みのある地域を共有	【チャプター設立のルール】 ・5名以上で設立。5名未満の場合はグループ ・手続としては、事務局に書類を提出し、最終的にボド承認を経て設立 【現在設立進行中のエリア】 ・広島（1月31日）設立キックオフ意見交換会実施。現在設立に向けて進行中 ・沖縄のキーパーソンとコンタクト中。 【今後見込みのある地域】 ・バンラディッシュ、ウズベキスタン、ネパール →現状母国に帰っている学生が少なく、ほぼ東京在住の為のような形で設立を促すか検討中	

2月14日	9	セッション	セッション活動プラン	・今年度セッションの活動内容(ボド内の役割) ⇒タスク表をベースに ・セッションが抱えている問題 ・目指すAPU校友会の姿 ・それに対して、ボド全体、自分が属しているセッションが貢献すべき価値は何か ・来年度セッションの活動プラン ※セッションごとに事前に話し合ってもらう：MTGの際、来年度のアクションプランをある程度固めてきてもらい、シェアしてもらう（min簡条書き スクリーンに映せる状態）	別資料①～③を参照
	10	予算	予算について	2016年度予算 立案の方針	【2016年度予算全体の方針】 ・超過支出期間の最終年度の為、2017年度に向けて2,500万円程度を予定 ・3月中に来年度のボドからの予算承認を得られるスケジュールで作成を行う 【昨年度から変更を検討中の事項の共有】 ・現状審査基準が曖昧だったため、基準を作成し承認の基準とする ・10万円以上は財務と事務局のダブルチェック体制をとる ・チャプター幹事会の費用は、年度末精算とし、上限5万円とする ・飲食補助に関して、総会費用5,000円補助を分けて、複数回合計が5,000円の申請が可能。ただし、新しく制定する申請基準を満たしたものの ・Loop.A.Sの予算権限は広げセッションが持つ 【大学からの提案】 ・学生への費用支援（Case competition やJBCCなど） →校友会ビジョンとも合致するため、今後支援していく方向。現在学生公認団体に支援していた費用を充てる。 振り分けは広報に任。ただ、審査員に入れてもらう、報告書を書く等要請する。 事務局タスク：担当部署から企画書や、内容が分かる書類を預り広報に送る。 ・大学の「桜」の森へ寄付 →校友や市民が集う場所として寄付するのは賛成。費用の50.1%を寄付して執行、名称も校友で考える。今年度中に執行予定。
			BREAK		
	11	ボド	意見共有	校友会・ボドをよくなるために意見交換	・大学において校友による瑞穂開講を来年度行いたい →担当：Alex、副担当：Channa →6月より定期開講を目指して事務局と共同で進める
	12	その他	大学・事務局からの連絡事項	・事務局からの連絡事項等	今後SGUの予算も使用できるため、協働できるアイデアがあれば提案して欲しい。 また、現在校友会データベースを改修中。その他校友会費を払っている人へのメットを検討。アイデアは随時受付中。
13	ボド	次回のボドMTG	・次回のボドMTG (skype)を決める	・セッションMTGは2月、ボドMTGは年1回～2回（今年度後半実施是非に關して、体制5で検討）、代表・副代表MTGは3か月に一回	
14	ボド	終わり	・各自の意見込み ・集合写真		